

■令和元年度労働安全衛生大会が180名の参加により開催されました

- ・ 9月24日、埼玉県県民健康センターで、第3回目の協会主催の労働安全衛生大会が開催され、受講者には受講証明書が交付されました。
- ・ 小林会長、来賓の山井毅県産業廃棄物指導課長のあいさつに続き、労働安全衛生標語優秀作品の表彰が行なわれました。応募390作の中から最優秀賞に選ばれたのは、(株)クワバラパンぷキンの佐々木学様の作品です。
- ・ 講演会では、労働安全衛生コンサルタントの二階堂久氏から「労災の『事故の型』を知って再発防止対策を考えよう！」と題した講演があり、最も多い事故の型、転倒、はさまれ・巻き込まれ、墜落・転落について、ビジュアルな災害実例に基づく具体的な対策が説明されました。多くの受講者が「目からウロコ」の教訓を学んだことと思います。
- ・ 続いて、埼玉労働局の茂野和信産業安全専門官から「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生対策」と題して、業界における重篤な労働災害などを中心に、働き方改革や石綿対策などについて講演いただきました。
- ・ 事業所における労働安全衛生の取組としては、(株)シタラ興産と(株)タカヤマから報告があり、二階堂氏から懇切なコメントをいただきました。
- ・ 最後に、高澤担当副会長の発声で、一同「安全確保の大切さを深く認識し、それぞれの職場において、災害ゼロに取り込むことを、参加者の総意として」宣言しました。なお、当日は、ミドリ安全(株)、(一財)あんしん財団、(公財)埼玉県健康づくり事業団、矢崎エナジーシステム(株)のご協力により、器材等の展示を行いました

安全衛生標語優秀作

最優秀賞

咲かせるな 現場に潜む 危険の芽

優秀賞

学ぼう過去の安全を 褒めよう今日の無事故を
百のカンより正しい手順 基本を守って安全作業
初心忘れず！ 安全意識に慣れはなし！



熱心に聴講する受賞者



安全衛生標語優秀作品受賞者



(株)タカヤマの事例発表



(株)シタラ興産の事例発表